

合格体験記		
	〇〇科	〇〇 〇〇
【進学先】	東北大学工学部化学・バイオ工学科	
【他の合格校】	慶應義塾大学理工学部学門E、東京理科大学理学部第一部化学科A方式、東京理科大学理学部第一部化学科B方式	

在学中の状況

項目	1年	2年	3年	
志望大学・学部学科	筑波大学理工学群工学システム	東北大学工学部化学・バイオ工学科	東北大学工学部化学・バイオ工学科	
部活・生徒会等	バレーボール部	バレーボール部	バレーボール部	
出宅→帰宅時刻	7:45→19:00	7:45→19:00	7:45→17:00	
授業外平均学習時間	平日 2h/休日 5h	平日 2h/休日 5h	平日 4~5h/休日 10h~14h	
平均睡眠時間	7時間	7時間	7時間	
年間教養読書冊数	0冊	0冊	0冊	
塾・予備校等	なし	なし	なし	
得意科目	英語	数学	数学・化学	
不得意科目	国語	国語・物理	国語・地理	
特に心掛けたこと	基礎の反復	計画的な学習	疑問を放置しないこと 解法を言語化すること	
特に悩んだこと	自分に合った勉強法の模索	時間の使い方	不得意科目の伸びの悪さ	
学習への取組 ・具体的学習法 ・反省 ・成功、失敗談 ・参考書、問題集 ・補講等の利用	国語	授業の板書 学校配布の文法書・単語帳で基礎の定着	同左 ここで単語をサボったので共テで躓いた	同左+現代文読解力の開発講座、共テ演習、模試の復習
	社会	教科書を熟読して定期テスト対策	地理：授業の中で知識を定着させる	同左+村瀬の系統地理、地誌、共テ演習
	数学	わからない部分を残さないように意識 4STEP	同左+Legend、文系プラチカ	4STEP、Legend、模試の復習、上級問題精講（数Ⅲ）、過去問27年、ハイレベル課外、共テ演習
	理科	物理基礎：理解が浅くて2.3年で苦労した	物理：リードα、重要問題集 化学：セミナー、重要問題集	物理：同左+エッセンス（赤・緑） 化学：同左+新研究、新演習、ここで差がつく構造決定 模試の復習、過去問15年、共テ演習
	英語	コーパス単語帳 小テスト対策	学校配布の問題集 Stock4500	同左+やっておきたい長文500、ポラリス長文3・解釈2・文法2、過去問15年、模試復習、共テ演習

【志望校決定】

私は将来の進路が定まっていませんでしたが、高校3年の化学の授業を通じて化学分野に興味を持ち、大学では化学系の学科を選ぶことに決めました。その後、模試などで自分の学力を考慮し、東北大学を志望することにしました。

【1、2年次】

1年の頃は、「基礎固め → テスト対策 → 復習」のサイクルで勉強をルーティン化していました。2年では、それに加えて、自分で購入した参考書で苦手意識のある単元を演習しました。また、私の場合、国語と物理では「覚えたつもり」「理解したつもり」で進んでしまっている部分が多く、

基礎事項にもかかわらず、3年になって初めて知ることがありました。この時期に違和感を見逃さずに定着させていれば、3年次の勉強がもっと楽だったと後悔しています。

【3年次】

この時期の勉強では、1、2年の反省から疑問を放置しないことを意識しました。細かなことでもメモ帳にまとめ、先生にどんどん質問していました。また、自分よりレベルの高い友達と一緒に勉強することで新しい知識を吸収し、彼らを目指にすることでモチベーションを高めました。他にも、スマホのメモに教科ごとのポイントを自分の言葉で書き出していました。

〈国語〉

私は国語が絶望的にできなかったのですが、自分が文字を流し見するだけで文を読めていないことを知りました。そこで、模試の解説を参考に自分の中のルールや読解のコツを見つけることで、だんだんと点数が上がっていきました。苦手な人は自分の解き方を見直してみてください。

〈地理〉

地理は教科書と参考書を併用して、授業に合わせて勉強しました。

〈数学〉

私は夏休みに入る前に数Ⅲの範囲を終わらせ、網羅系の参考書で復習した後、ひたすら数Ⅲをやっていました。過去問に入ってから、他大学の問題を解いたり、課外に参加したりして、「見たことのある問題」を増やし、記述力も磨きました。

〈物理〉

物理は、なんとなくの理解ではいずれ壁にぶつかる教科だと思います。演習を重ねることで、根本的な部分まで理解を深めるとよいと思います。

〈化学〉

化学は早い段階で高分子まで終わらせることをおすすめします。分野ごとのつながりが見えてくるため、比較的暗記要素の多い化学でも情報を整理しやすくなります。

〈英語〉

夏休みまでは学校配布の教材を中心にやっていました。その後は長文の参考書を徐々に難易度を上げながら取り組んでいました。個人的に後半は単語帳を周回する必要はないと思います。私は長文の中のわからない単語をまとめて自分の単語帳を作っていました。

〈共通テスト〉

共テ対策は、授業で十分な量の演習をするので、それまでは記述対策に集中してください。二次試験で使用する教科は、記述対策をしっかり行えばある程度の得点が見込めるため、それ以外の教科を重点的に対策するとよいと思います。私は記述に比べて共テがとても苦手だったため、追加で演習を行いました。共テは形式上、最後の最後まで点数が伸びます。焦らずにコツコツと勉強をすれば結果はついてくるので安心してください。

【最後に】

受験勉強では本番が近づくにつれ、自分のできないことや、まだ演習が足りていない部分ばかりに目が向き、あれこれ新しいことに手を出したくなるかもしれません。でも、これまで積み重ねてきたことに目を向けるのも大切ですし、時には勉強から離れてリフレッシュするのも良い方法です。本番は、無理に実力以上を出そうとするのではなく、いつも通りの気持ちで臨んでください。応援しています。